

# 目次

ご挨拶	・ ・ ・ ・ ・	駒田聡	
目次			i
第24回日本語教育連絡会議日程			iii
参加者名簿			v
<b>&lt;論文&gt;</b>			
言語と脳 — 日本語話者の聴覚: 耳から入ってくる音の表記 —	・ 川手ミヤジェイエフスカ恩		1
会話授業とは何か(1)	・ ・ ・ ・ ・ 若井誠二		19
日本の新しい文化力 — 日本語学習者との関連から —	・ ・ ・ ・ ・ 鈴木洋子		28
主格助詞「が」の意味を学習者にどう教えるか	・ ・ ・ ・ ・ ヨフコバ四位エレオノラ		40
クレメンス・シャルシュミットの日本再訪 日本語学者の報告書より	・ ・ ・ ・ ・ 小川(堀) 誉子美		48
Can do リストを教室活動に合わせてカスタマイズする — 体験型短期 研修の場合 —	・ ・ ・ ・ ・ 岩澤和宏		58
漢字教授法一案「漢字系統樹」と「漢字イメージトレーニング」	・ ・ ・ ・ ・ 善如寺俊幸		66
学部留学生在が日常生活で体験する日本語のバリエーション	・ ・ ・ ・ ・ 堀口純子		75
書き手が読み手に主体的に関わる — 作文支援システム TEachOtherS を使った実践デザイン —	・ ・ ・ ・ ・ 佐野香織		83
ツイッターを活用した作文指導の試み	・ ・ ・ ・ ・ 高橋知也		94
プロジェクトワーク再考 — 新たな日本語教育の可能性 —	・ ・ ・ ・ ・ Gehrtz 三隅友子		99
物語の支え: 文学理論の視点から見た日本語教育	・ ・ ・ ・ ・ Darin Tenev		109
助詞の表すモダリティ—構文表現と話し手の意図—	・ ・ ・ ・ ・ 仁科陽江		116
主観的程度表現について—「～程度の」「～ほどの」「～ぐらいの」を 中心に—	・ ・ ・ ・ ・ 中俣尚己		125
モダリティ「わけだ」の用法 — 「はず」との比較から—	・ ・ ・ ・ ・ 村田恵美		135
日本語における「経験者(ニ)ハ〜ガ〜」構文・「〜ハ〜ガ/ヲ〜タイ」の 願望表現 —ブルガリア語の与格「mi」/「mi se」タイプ文の観点から—	・ ・ ・ ・ ・ Mila Maneva		141
教材開発プロジェクトの試み — 海外における日本語教育実習は実習 生に何を提供できるか—	・ ・ ・ ・ ・ 守時なぎさ		151
ベオグラード大学における多読時間の取り組み	・ ・ ・ ・ ・ 岡田さやか・高橋亘		158
学習辞書編集支援データベース作成について —『学習辞書科研』	・ ・ ・ ・ ・ 砂川有里子		164

プロジェクトの紹介—	
日本語教育におけるディスレクシア —問題と課題—	・ ・ ・ ・ ・ 石田敏子 170
CEFR/JF 日本語教育スタンダードを取り入れて上級レベルの口頭表現 を伸ばす試み	・ ・ ・ ・ ・ 森田衛 179
間接教授法に関する一考察 —ウィーン大学での経験を例に—	・ ・ ・ ・ ・ ヨシムラ さやか 188
<b>&lt;機関報告&gt;</b>	
実践女子大学	195
ベオグラード大学文学部東洋学科日本語・日本文学専攻課程	196
チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学教育学部日本語教育学科	198
リュブリャーナ大学文学部アジア・アフリカ研究学科日本研究講座	200
カーロリ・ガーシュパル カルビン派大学人文学部日本学科	204